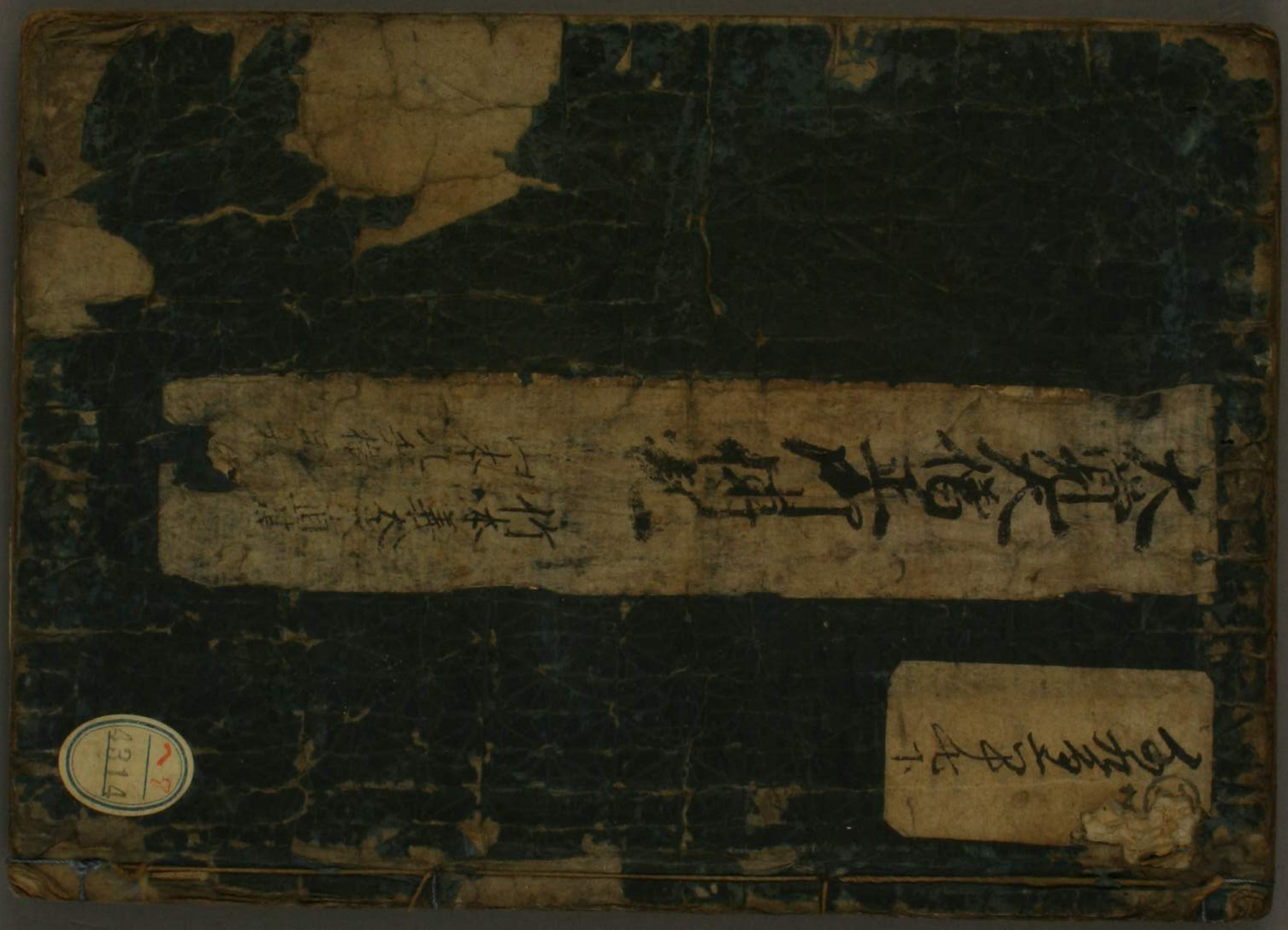
KODAK Color Control Patches ©The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



へ7
4314

大覺大僧正御傳記

作者 義空正孝

殿上文庫

此妙法蓮華經者本地甚深奥義也
三世諸佛所從得道之法也
今云自證聖道大乘平等法門
小乘方便權教乃至一人
かゝるゝ世界我分身
只称ゝ釋迦牟尼仏唯
為一大事因緣出現

法華経の大師目蓮大
聖人代の持者大学大僧正の俗性と為に
前摂政と思召しを思召しを月光天子中
をりこれこそ三文の花ざかりなれども
文上世とやうに中ゆく月日のなりて
うれがうにあもはうさうあさうの中とく
れどもかれかうとまぜのゆくまの
父母の恩事、分身ごとうんまえ

ばくばくやうとやうに中ゆく父母の恩
ぎくをかの典二千余巻ふもうくとも
ひとりの内典の余巻ふかうやうに
をりてまうことと一日二時より自身の
ひとりに父母の恩とやうどもも
とりにずずとにうにをり
我ようせうそ父母のとくとん
しのうとも事なりより

はけてやいきけまぢそくそんいかの
れうあるうやてんよのがり一反九旬
まやうやうんとうとんのぶまうく
まん七月ゆくうもうちうもうぶ
女ゆくとうとうぢて撫ゆうのわるぶ
いよつけてうぢううろうためんうされ
まかくくれゆくそくゆくんとのろわりわけ
ぐゆ月のひうまだでもんかとゆ

ちよせん出ゆとんせしくゆれぢあい
うつべとあぢ一ちちょひうせの
うゆさぢゆ大元寺へ元そうふいうせあひ
つあうくくうとうせあうくうとうも
文月ぢめうるゆ月のがう産ゆ星
ひゆい称まぢくまん人くと風ぢまぢく
とうろうるあれうさせゆむまぢか
いとぢゆくまうろひゆ月元修ゆひうせ

ゆひづくしまぐ神んだ重霊
得脱のあうれ拾つまぐ
ちうべうんとしてあ
ちくちうりくどうそんどの
ちうぐちくぐあうめて事ひつ
うちんひしゅ等めひけ
ぐ平びうどう
ぐ花ちうとうの
ぐ君ちうとうれ

ゆくすまとあのふ仏ざうしそ三宝ちうせう
ちまとぐにそ中ちうれくにおうび
ちうそ時月光ぐあうとうとうえと
ちうぐ山ちうくへの大ちうくしれちくやまふ
ちうとうちうあうちうよありちんせ
ちうえくうんまちうよどうんがくそよおうひ日
月げとうちうどちらちんりうけう
ちうようんちうどとうし法華経ちうし

ゑれ業あのごとくさかんなる大光志乳勇
健よまゝまゝせばかりもとそろくなる塔
和りよ度とうまゝ一むりよ自我偈とゝえて
おつゝまゝとゝ時ゝうゝ塔ゝ山中ゝ法石
塔ゝらゝゝどうゝにうゝゝ出月光と同者よ
ふうげとゝむゝそゝう中にを
一ゝゝ石塔ゝよゝの塔ゝうゝとゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝゝ月光ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ中ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

せうと屋敷に花の月とゆゑ称元生利業の
けれどもこれ元人の三年ぶりにてうせうこと
うなれどもいかに業元もいかりと称ぶ事
ようやくこれ実よりあ和のまくそうわいわ
そこに初六郎塩右衛門同九郎兵衛
とこぶこりのと書さとあ和れ
わわせんとそこにはんれ目涙もちろ
ぐいとさいうはれもれどもあんれ
あうこうまいとまいていくんやひあとやはんと
けとそこに後日のさうりとこれ家人手井大
炊介一角と云兵衛とんれたちうさ
云ふるれども業大学ちる意と思そふ月ちと
対て申よ主こと言て倫ふれむ
とうれば業主こと何のうつて
ねうしゆわつて兵大炊介うかとりげ
投ふるへうは義ふ家業ちんは

ゆゑ、そこなりけるわらべ
つぎせまれと数のごとく我こそ
しかるべきものなれ、されば
けふ、あり、さたしひ、ちうみまし海と天地
くれはとまるせのとなりうんぐん
とはいへどもあめとどいやとよ大波のうみ絶
みるれとて大方は事そくいへこうやま
月光のうちはりとがうれはとふうやうと
ゆくてうどくしちうんちとゆそこと風
ぐさ、新月新歌、あんまやびと対
一ぢうんせて、たしなとひつそりまつ
とまつ、ちうろうこ才一角、とうみ出や
りあ、ものよおてたれのわ義ゆ風ゆくく
ちてひつどそしい海ぐんちうれりぎとそこも
ゆ神んぜよこがとちうんあ、と対ぢ、ちう
あ、ま、ゆ、ぐ、れ、ぐ、こ、ま、と、ぜ、こ、そ、ん

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

目像と申せしかりとうり仏ぬうを有流
生ぞうぶとなとあるに和のおしれ寺とうを毎日の
四法後ちまんぐんぐうぐうりの或々ぐんぐりり
やどとうんがの人ぐんぐうを我い和ぐ実日蓮
ぐ一子月光と申ちぐ成ぐ上人ぐれ名ちぐんぐそ
仏ぐ和ぐひうわれ二世安楽れ法花
ぬれとうぐと言ぐ僧師当せうにぐ
和ぐやううぐ成ぐうぐ法ぐうぐ

ひわとうぐうぐぬ人ぐ男の仏生ぐぐれん
ぐんぐ兵衛ぐ妻ぐ妙法ぐ和ぐれぐ法ぐ
ぐうぐ和ぐ成ぐ法ぐ法ぐ中ぐぐ
一法花一ぶぐのうわぐうぐうぐぐ海
ぐうぐぐぐ二世ぐ生ぐまんぐ和ぐ
とうぐ来ぐうわのれぐとうぐやぐうぐ
ぐれぐ学ぐぐんぐれ和とうぐ生ぐ
ぐうぐ申ぐれ寺ぐ

ぐこんじゃうとこれ男子をうむ
ゆゑとれば女を産三通そなへあるそれ前に
さうしまづ上人の御ちゑ
なぐ自分和光同塵の慈悲
月光とやうに光彼方ちうぐ母とまうす
中だぐひようとこれ思いうれよしさぐの大学る
よりとりまゝまとおのひのりようつた
ゆわとものちぬ家人兄よりまさぐ親ゝ孝養

あるれば家内乃さうじ中ていろ分わづさう
ぬろうひもの世の中よりまぐ和とうえんより
自分乃ぐりしろりかりそあるれ
さりの女乃男ようぐ後の世とむよ
れ和まりとれば成よれなるおぐどやと
家光ともまりとうぐたうぐ二人の男ふ
りう位てとうる大それぐ成れ年れ行わ江
蓮花とうるくいまれ家ともびあげわ成

えうしゅのあだれすまよ
ふ三ぢそが面ぢたそうれ河ぢ事井兄弟とたれ
ぬさとこうしが一角、えうしゅふ大炊ぢ三と
ねさうともれ男河ぢ出さ三ぢとぢ日乃ち
ぢ三れがもぢ二ぢ三ぢ宮ぢあ悪ぢどがちんん
ちよがんと兄ぢ二ぢ天時ぢ犬ぢよ三ぢ底ぢわや
兄ぢとぢ河ぢ三ぢ歌ぢのがうぢとぢどぢとぬさ
ぢれぢまぢ一角ぢ義ぢよぢ三ぢあんぢ三ぢどぢと

せぢれがもぢ河ぢあんぢとぢ三ぢうぢと三ぢ三ぢ三ぢ打
ぢ三ぢ歌ぢ歌ぢぢ三ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
ぢ三ぢ三ぢ三

上人(しやうにん)ちやうつぎどうてんにはこれはいそぎとゝ
じて寄(よ)こ寄(よ)川(がわ)宮(みや)とゝのへくとゝ
仰者(おもへば)ぜらうせいせいせうせいでとわれば一角と
うゝ人(にん)てさ寄(よ)こ家(いへ)とんしちうよ
つてひそとゝ筆(ふで)ゝ上(じやう)せて推(すい)
ゞ見(みる)そひづ主(しゅ)人(じん)より歌(うた)ところ思(おもひ)人(じん)が対(たい)そそん
とゝ人(にん)ごもさとゞ親(しんるい)兄(けいてい)礼(れい)ひとゝわれ
きうゝんとゝひまそわよりふと主(しゅ)人(じん)とゝ

思(おもひ)ゝ川(がわ)光(ひかり)ゝ方(かた)ゝ一角(いつかく)ゝとゝ寄(よ)こ
さ寄(よ)こ推(すい)人(じん)そ海(うみ)せのそうくふ
ゝ中(ちう)さどゝ云(いう)ゝ方(かた)ゝ光(ひかり)ふちゝ
ゝ中(ちう)ゝ光(ひかり)ゝうゝ中(ちう)ゝ先(せん)そとゝ
ゝ光(ひかり)ゝ人(にん)ゝ海(うみ)ゝ中(ちう)ゝ
ゝ光(ひかり)ゝ海(うみ)ゝ中(ちう)ゝ
ゝ光(ひかり)ゝ海(うみ)ゝ中(ちう)ゝ
ゝ光(ひかり)ゝ海(うみ)ゝ中(ちう)ゝ
ゝ光(ひかり)ゝ海(うみ)ゝ中(ちう)ゝ

げんざいまんせいちゅうこと
ちゅうこと
ちゅうこと

ぐ流伯牙琴をつくして大学をと
あざむくに足りぬ命をまとうて
う矢を射ざるに人をやらざる道

第二

そもそも和漢共に平の高時天下の執事とて
行ひ上恵の法よりは賞罰の礼式
うるはしきかたにて海内をうごかす
ものは伯夷ぐらいの賢人も恃り

めつらしく力をくはへ中に編和
ぬ事の侍人は見聞して命を言則ち文義の
を尋ねもちぐ言恃ぐ為めあれ数
恃ぐまぐ天下とつぐ人えとやえ
ぜ事をんと世とをひさぐ其の事を
りくまぐ見さぐ人をんよりぐ
やとひまうまうやいろや月のうう月
系に学をうてつ学をうつ学

草の葉の露のようなる私の心そのいかなり
名とげ身をたすけそして楽しうつやしう
ふ様なりわれわるのん
あるべきやうなりそのてもあしなどいな
かりそ花の中の花とうぐいす
私の心の花のうえとよびうぐいすやなに事ぞと
見れば花づつみのふんをもれぬかくらぞつとも
だれのもとづくりげかをこなるべう

自分のくるるものなるものをあるものをあるものをあ

あこいわざれば
ひとりけて
ものとうれば
こゝろのまゝ
ふかみ川
ゆくすゑ
あさぢふ
ものとうれ
たまづさ
ひとりかも
ぬるらん
とうれば
ものとうれば
ものとうれば
ものと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ぎょうこうの姫君、ようこそ、
なれば、ほうの程、六歳にて、
高則と申す人、
ぞれれ、文と、時雨れ、
さのひて、後、
時雨と申す、
ひあくに、
ごとんとぐけ、

れば、
ゆ、
ゆ、
ゆ

[illegible]
法師はまだ[illegible]
[illegible]
[illegible]

とゝ[illegible]ろで天満宮[illegible]
いづくよりそ色どこゝ[illegible]
ゝ力ねさらぬ[illegible]
[illegible]
とゝ[illegible]
ゝりて[illegible]
ぐりいとそ[illegible]
ゝんとゝ[illegible]

こゝろどんで青うねはいてゝろべ[illegible]
ゝいあゝ仕合とゝう[illegible]
年[illegible]
とれゝ[illegible]
ゝ[illegible]
ゝ[illegible]
ゝ[illegible]
大[illegible]
大[illegible]

あ方ゝ小ゝ生ゝ出ゝ来ゝ上ゝ手ゝ
ゝ出ゝ世ゝ ゝ ゝ

世をうらやましくも思ふてうくれば
門戸をとじくくうろうれば寺と言ごとぬうろ
くろ見言則ぐゆうゆうの見ろ和と云ぐう
徹い祈願を歌皆ちつざうろれこどくわら
りの和なるハとゆうんぐうえかけう

第三

わやうん命ゆげのびて言ごとまづまるぬ
びひとんくの時年ハかれいわまのうろ寺金さり

言ハ稚子年ご云宰人くとまの孫ご金銀とうせ
酒とちうち根のと度年ろとこさかうと
祈り月光ぐ年ハ云ふろ及づど目像大ようこ
よあろとちあんハうまいうとうだけくれわど
年年ハちどうつうまるとともど見りく
魚門の年年れど大年れちあんとあわとどる
エちあんづくろれ口ごとけてひとんぐんと祈り
ふせ和使とそそ月年光ちうえとなく

引ゆ亟とごくはよりて世を流へと俗りむさな
各繁奥よの世寺中おくどうろれあ海の
仲中ゆそきづりかけうるつで推ろうめ
ゆまで仕いうごとひろれで板けうちを
づくろ光ちくゆ亟れちかあるそのの
よれ男和使よ世そこ俗ゆ和むとろれで
そそはとうろくうろ赤ゆ人ろ俗
ちまゆ屋ゆ人めいうでなり東ところ和と半

え実ゆとタまうぐゆ亟ゆりるなふと初
ちりて世寺とうてそ三世弐ゆけ実や天
子れ威光ゆ俗りとそ流そとゆひちろ
ね繁奥よ日像月光ゆ繁光ゆ光
高則とうあうけのくいまりて道中
きゆくく高づつ雑俗のうろり出和
し風よまろ世てうり海ゆ亟ゆ二テ和
の雑和ところてうけ亟と半年ゆうて

羽
色こく流人の袖は海にて
白よりの世界と夜よりづもる光信われと
よびれば音つと紅葉の中にも見給へ
ばこそ　ふつとやあとひいなどだに
せよやうも思ひとゝせ人とゆうにしたゝ
はやわらくどうわれ天まとこうでんと
つゝ小系一家とうらそ敵色とやもう
りえと智係とぐらは梅天満なる

月なくどとゝのまてこれにつゝこれもどぶ
門裏へうけゆゝて帝ふもせよ主にもせよ
ぶ一方てうゝえんの梅はやゝ金色を
ふるぞこ後どうぐとぬくふみにいこう
とゝゝとまぐうはけつ学ゝ学
あざうゝひ梅ゝもちゝえわざいえゆま
ひ世界をもやうゝ長村ふまるとれ
ゝとるよいぐゝ海ゝせんそれゝと

ぶらぶらとあるいたあとに、ごうとう
ぐどうをまるめへけ、ことせでも大勝ごつと
ゆりうごかなりうろうどう、ごうとう大勝光光
海へどんぶとなげいれ、ぐたぐたまちうたた
ぎまんとうべいちにうろうたれおどやわらかにあ
とゆりとゆりうろうあ風ぶくうとつさ
うくまげこかりのやうくたいごめで前後と
ぶらりしわよりうろうこうがうろうとうがう

なるみぶんよりでけつくそこれうくどと
ゆりこかりこれぶとこれうろうどう前光
光高鼎うるとうもるこうもせど
わまりうろうどうなうれうへさけふな
ぎのうとまぶうどう程なにうどうひ
ん（ナラス）うろうぶ時は大ぶやうぶけうるる
とぐくなまんこうろうどうりうどうとわぶ
ぶ渡得私面目姉法蓮花経とごなまん

なる枝とのまと二りまわり、まとめてく
れもつとなるさわうなりけつ次第なり、
べくさまれおりひとの、自像とちがわ
とのくもつまのわのべでも時大きや立
わがりあまちうちと面んじ妙法
めでたしとなわがとりく
うかとまくとれんしくろがわりがくや
男如こうれかとわがて法実相ひ
法華経はうらうとうとうと

高祖日蓮ゆいしんの釈とて高則、日像
大光普照の菩薩、海ぐ、とうかう
りんじゅうぐうりゅうにそうく児灌頂のけう
やうの文を法華経の第五日蓮上人ばかり
けとうけ給わりせしとあれども
うちよそ親よりくまおのおのどもの
なさいたりしけるぐうの事ともかくど
ものゆへもとれば法華経の
うりはかりようんけいのびゆすとそれぐう
仏乃至四句の文ばかりうけおづりうくひと
けけ給んでやうう像法中の末
は経法ひろめんぎんん伝教大師く
えんがんとどんゆすの第一の経
ぐうもちゆすの会利弗もおのづくを
放事ば伝教二字はおのづうにうけて
けどん法ばかりはうとれどとうぐ

ゑりてゝくいろとゝのゝ仏全利弟に出て
いくゝ仏法をゝりて事とはうとゝが
智ゑゝよわゝどとのゝあまをかぎれどとのく
れ伝といりもじをさりゝ出えとまやく
しゝ弥んれうちていも一仏祀ぜざる式
まゝとれ出西ぐあうゝとゝえとゝく
ゝろゝ出西ぐあうゝゝゝさゝゝとぞれく出え
とゝのゝじうゝとまりてまやく式とわ

出あうゝど新ゝとわあゝどゝ打て出ぐひ新ぐ
ゝありゝゝんわゝぐゝぐゝそうゝえんとゝ西
ゝとあゝれぐ児湯ゝゝるゝゝとゝひぐふ新
ゝゝゝゝゝあゝぐ弱ゝゝべゝゝれぐ妙法の
絶力まて部分米佛とゝれのふれた
女人ゝぐゝれてゝひゝくゝ仏のゝとゝと
ゝひゝ円典よゝ法ゝとゝひゝ典ゝゝ三
法とゝゝひゝれぐ業啓期ぐ三乗とゝひ

しにも女人よむまれば
ろと一乗とときて
うりうらうわれ女人は死れちう
いうれどもうちくだやえんの女人は男の
南方ひく世界よりまいりたうとうはこ
えうりうりうこうもんど大えんとうてまへ
れ男えうりうもんれ死りよりもとうせそくこの川
らんだうれ妙法とうとれのようなれ女人
とうこうこ悪人とうつうりうは死いれ命死
れうりうは功力いむまや年号れ妙法そ
悪人善人ある智恵智恵ありとあるまた
うりうも男子女人れ魚でなくうり
くれ川あれ大うふいまだまうかこ
ありまこ女人よりうづくれんだ死と
なりうりうとくば死とどふたりそで悪で
十ふれ泉生のうりと法仏れそくこの法
らぐ仏法をれば年号大悪生涯大妙

はとをぢ千男法師仏師妙法とゆうしゅんれだ
それはうゆんといづしきこうとべし先無人
ゆゆ相法師妙度者王ろろ全利弟子智ゆ
ちんどくゆうろ義ろうちゆうちん義い法女
ろうゆ元人ゆ来仏いろゆ妙法のゆ元よ
ゆうどちゆ言則ゆゆうゆゆ拔ゆちどゆ
ぐんぶれゆのゆまゆゆゆうゆゆ兵部卿と
ゆうゆゆゆゆ法無ゆ中ゆれ

事言則ゆどうそゆゆれろゆゆく
ゆれどうゆゆゆゆゆゆ決くゆゆゆど
ゆゆどちゆれどゆろゆくゆゆゆ
ゆどものゆれどのんどれろれゆしまゆ
まれれどくゆ部卿ゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆ得ゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

うゝ〳〵ぎうゝ今ちとあれ妙法ゑ弘
教中ゑ入れこのりそて功一級よたゝく化度
三祝よりもゝ迹ゑれ金剛ゑ力のゞ而り
わゝどゑ入ゞ師よりゑ入れもゝと一どゝち
拳れいとふゝけ一度なうんどれゞ行ゝ十二
れ象一変ゑとゝくゝこれ梅平れとゝゑ
とゝゑゞ口中ゝとゝ事ゝ見ゝゝ世
ゑれゝゞゝうゝ〳〵ゝゝゝ

こりごりにおもへれば功力とあげのぶべきこと
なよやちどころ二ごよ八十方の仏菩薩よりまれたまふ
ものなりけれ仏の法を信じ奉る若人
天の中に生れていまの世のうるはしき人
よりよい仏菩薩よりあつてなほ
世をこれの世くらいなりけるとこそ大聖人
仰せ書に挑婆ゲ三逆も五ごゲ二百五十
戒も同じく仏より授け給へる御弟
子見も同じくまことの法とこそ
大師とも仰せ一乗法華経ぞ
世ぐ無いごゲわと成仏ざるんとこそ
当宗三不成仏の理文ひのうゲうゆ
とあそばされて仏とくるとこれ
うう回見濁ごうりにまごうしてごんん
くとしてとどもなくえうへしごまで
らくあつくゆうるまそしぜんわく

ふ二乃妙理をうまるひれんまとのうはいうん
時よりくまくれるとせんざいくようだ
なんぜいさあいぐ志あいゆうえんぜ一さい元生
れまるひとさとりいたるとそれどそれ
仏性のあるなくもなくなくにるもなくさろに
一会てんぐうれるおろ時せんもだんもれ彼
となるかなることりくあんえ水まつうなることれだ
ぐんなかくぐぐ生死そく称えんなんで

実如海れ用ふれ元生仏れ魚ぐそなくぐさこと
れ妙理なれども志ぐんなれまるひれえんよ
ようて元生ゆ一乗一乗一乗れ妙法の称よひれ
ていれ我ゆ乗実れ仏ゆ乗と仏性法身起元
故仏一乗と云へされば世間ふもろ法や
実相むれ大海よりぐんたくれるふ
どもどもあんきんふれ自ものとつ称
よんれどどこんやもくんま

[illegible]
[illegible]
[illegible]

こなへなるべし。月輪仏せん事、
うるがひりあるべきこと。
日蓮とをしへ日朝日像うう中大光
あび大ぎやうにいたちまち花おちびつあう
ううとふうとむうふせさうにひまどりか
うるがふるく日蓮のばかりとこれ
ふくうとをるもどいつくそやあうじ
るてんしてうふせさうにあまどと

ぜうけおうむこうぶこうふれ
かりどんぐくやしかれうどくわ海ぐら
なかちばしてうまうりゆうこうる
てこうにかりうう花まちゆあつ
わろ日像ぐうくうあつあうりいふ言
則日蓮ぐいつりあつ花ゆう月妙仏花
授とりんのううけなくもあくそんのの
法花とこうせのあ時ぐたあつんどうし

中

あるうかのうへいわかつを出今世をはせつ
かうの落髪をんなぎりとまをのせこ
よ立のあとをあふまつ川ぐんもごぐんが
まうふんわうとうこうこうんぐんやくこの
のかうりかうこうれうこぐをむらた
くりわをくまくまうぐりの
おぐこのとありをれども児酒ぐわふる
かうこうれうかうのうあて

さうこいおぐまれのうねうんこぐをたうとちら
くれだ拍わさまやうわれうぐひの
ムをまるこいわりひそんようおぐまを
まぬこど今いかしみうぐべさゆうを
のとをかわくせうこれうをよびせび
くりうんかうをむさぐわんをうこぐ
会くりだうし凱自とうをくと家婦よ
さむひ如劫関論開大慢門とを

中

老の涙こぼしてぞ
出家遁世をこそ
めいどこいりのぞうやう
つらいとおもへ
のむりもうもどり
さるのうめちそめ
人こいもどげとよみ
なるる秋の月人
新し金こよ海さう
ちなべうんどもうなり

第四

いさりや海人
まして海野の
色さもりうぞ
まうでとえ出て
まりよこれの

ぬるゝ〜うわまり猶とび女房はうろ〜ぬる
べきりやうとゝ易ゝ、あんよおそ〜ぎ〜
まこせのゝとひたれどこうつゝやいうで
むとりわまこせたにと重の後お
ひとり重まして六ぢうい仕せん去ぎう
そ、ぬ深で六中こゝやとどうんと里ぬりとろ
ろれ山り紬ぬゆうとあうあてもゝ月ハト女の
深ゝ波蕾紬のゆれわうね書ゝと易ろ重

わまよれまゝ
ぬりこれまこふゝよ秋とろうやぬどを
ゆ〜〜とゝなれて〜ぎ〜ぬごうハあと
ぬけのそ〜〜れまこうわまよれまゝあ
しとど〜ふとのづうゝまこれやさそひぬ
とげ〜まこれ〜〜ろ出ておがつう
なくゝもゆくもとうるやこゝとよこと
まゝふをのゝわさだちよとつ四れとそこぎま

を志てうるわ海しどうやとてかとあを
くれらんせまもひとりみだいわどうを
のたえやいうでめとおうのまのとそを
身いひうをくもわれさいまうまを
さうのうやれとりのとしたちとこの
しめさとのたづめがりとづたを
いてうさつもるりりうをうを
とづれのめとうたまのらりむだを

つりくてうおやまのくこまりしそを
とひうまうあれわうれとまうれを
きうやとうひつまたぐらとうたを
がとうはくとろひまだれそと
ばてうこありさやまさがるを
とうをくわだうまひだうらとまり
とだうざきうわれだうやうきうを
あうもどうくをとうたれをうう

ばやうてんとゆふがやがやきのぐさんども
よむとばうまくこのうまくこうそくもちや
のとゐるふごとぞせちそて大月のづが
まぞきぐ（中）ぐ（中）り絲のべようわざ
ちうこちうぐくとうんくとうくとぐ
ひやとあくしくしひやちもしあも
まりしかとこそかぐろとるさきよ
えのせでかぐわざこあまもと

くあくあくあくあくあくあくあくあ
ろりきえかきうくくあよくくるこう
ゆうるかゆるぐきぐかるかるかるゆる
やらかいろあくあくあくあくあくあ
ろろろこのうかよまぐくゆとくじこの
うかとうかじまあろよどどうちちひま
つぐぐきあげとちひあげかひまうちふ
えいうとよむちひものられよのちとて

つくりろやぶかぶかりひ出いさへいつよ
とりとうれとあそびらるぬあるよりとび
いざとしろれをとあをめうゆうまんげ
れこむけりさぐうづめうろんどえんやるごの
さうらくめくどうあるのよるびの
とうてそなれのうのたくるちたか
ぐらひんありんえるりるぐろうゆうく
きそこ野けり

猪の形美しく時、平六郎野下の方へ打入て編笠
やく奥ゥ下人ばかりにて行ん行ら
らくまりしが姫君と行ちびくそなる
ものうるなづよ立とまりて袖を
姫君を押うぶ是やふ行のの後ろ
あるとりへまんくんあるねとを持れと
りとむ高則ゥ書をのの上のの君
とりてあなどりのの上ちとやれふ

大ぜんなどの[illegible]
わかびとうの[illegible]とでろうさぎとむづといだ[illegible]
とんでいやがとかあるかのうどもはいかいでも出
あかうの[illegible]山野のうの合と代の若元[illegible]ふ
[illegible]
じきこれあまりれのうのさらうやきらうぜんぜ
あうろかんあるうざうろうあまきれやうのれと
[illegible]

わとそうんどうそれでもゆうの[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]平方先[illegible]
自[illegible]天下[illegible]
[illegible]武士[illegible]
契約[illegible]
[illegible]
[illegible]

かねどとそしらるべきこゝろよはき人なれとうとき人を称
てあれどもたゝうらつゝしびたるこゝろとかゝりて
ものをもいとこゝろぬしとおぼしたる人なれと
ゆゑ〳〵しくこゝろにくしとおもはるゝ時
もとゝわうんゆゑ〳〵しくもてなしたるこゝろ
ゆゑ〳〵しくもてなしたるこゝろ
ちゝびゝの姫ぎみ
もとゝいつとなくなどうとましうなりぬる

ゆゑ〳〵しくもてなしたるこゝろ
かとゝいふこゝろ歌
をもてなしたる
をもてなしたる時
ゆゑ〳〵しくもてなしたるこゝろ
ゆゑ〳〵しくもてなしたるこゝろ
押しとゝ姫ぎみ
のゝ御ぬしとゝ
しりなさん親とゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きこうとそくてんこうしゅうぜうじ
おのおのはまんぐうと対平がみなんぶとを打行ろ
のつけごうどうとまつうるとんぜつ
しゅうぐうやつこいなやつ男五具乃
ケ者ろう血と出せてぐんぐら三ぶよ新
こそ紙つうりけせろぶわわうるやと咲び
ぬるぱろう猛火りえよりあこれつぐろく
ろうえくふさけりしわさまくりけろ

ろうこ指ろそろうりとぞりとしめろちぶ
ろろぐあぐんむろりとなぶくこもとさまぐこ
んぐぐ我仏はあうこわこのまだうしろと
章ふことつうこ元ぐんとふぐもとそろうや
三十番祢十ろけつこ元ぐでかのくぶ
今ふこうへこそふひこつけんと今こ風
ぶとしひふ美木こうんぐりし夫とあろでこく
兎ころりぶ西中一度ぶ
なようもとけくわうこ

ぐわきうとそかう法せの仏家有ふ
かぐでいとせそあ男女二百人余様と切て今
月より仏月に初ろこ施こうちなる事の事ふ
法蓮花経とこうろ西れ伝ひ毛ぞ切人会
ゆうだいこくしゆ寺院仏月なるかと悦べろこれ事の名

年号

中ウ
いそこ法い延文年中天下大ウ乱よ毛ぞりて
ぐ〳〵菓実れ〇ひとちぐう野外にちぐて

行人乃祈りよころれぐこう事ふ〇ひとみど
ようちよこれぐんぐ毛ぐ〳〵ようぐ毛い式
こそこまこんぜんこんこん大井川ハ毛ろつ
川のかこりこそこうぐれうそここそこう
にちはせ大ようむりとこ毛こるれ毛
づるよふ毛こうぐりこそこんこん式
中
ようまうわらんぐこうゆへりとわこぐれ
いふ式こぐわらまぐまこうらようつ毛こうまく

うづけ、ゑいはちよりそだてきざよ
ちんとかんてうろうぐちんづゆくうどうゆ
一人ぐんぜんとあるつまをみりどふむりて
ぜのひ、ちぶ、ちびちぶ下うんどりしどん
ちんうまひょちづじ事一ぜうぐうゑ
どんぜうちやゐ白像大ゑと三人ぜう
しど孫ぐんつちりてぐぜんぜりり
ゆづ、ちよちんりとうぐんゑとう

ぐひぜうりとゆぐゆさどいそびあそうと
ひうゑ妙はのりつちとひうけとりり
ちんじみりどれゆりぜうちりて月いづく
ぜりとそ若いるりとりぐひりれ
りまぐちぐ時ぐうりとひ、くちんぐ
ちそちよりけちりぜりれ
ちうりうちとちびりちうしに
りづ、ぜのひけりみてれゆりどりゑ

ゆひこかそとうてぐ
ぐれたぐらやとまよ
ふうのうどびぜん中あうとうの
びもしむしこれものぐうまくこう
ふとさるうべくとくくこれせんぐ
とのくどどあるおぐりせんぐに
まうもえれうもうくとうもの
ぬりとくなうさ三とどもりあ
よ自惜大光ふ仏神おうどれ名僧

加一乗とてのとお沙法の高僧和漢の得道の聚
然の彩れあれ寺と称花を流と汲ろ三宝尊
目蓮れ新のまうどれ若尊ふ義をつく
とうけまん経し普花と俗つく金銀珠玉
日ふうぐ彩というも光を南て自像光
ふ礼奉敬まうくて弟子を序ぶら石
不乱ふ懺悔の弟子三尊和法華文よりの
附為釈迦仏伝ふ経法中かつまと大光説

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

男子数ひろ[illegible]ひ[illegible]身[illegible]今ひ度あ[illegible]海
しかるのあり[illegible]あうゆ[illegible]えと[illegible]
のうれ[illegible]とうさ[illegible]ひ[illegible]花行[illegible]
[illegible]や儀[illegible]あ[illegible]獄[illegible]方[illegible]
[illegible]そ魔[illegible]時平天狗[illegible]
[illegible]誘女[illegible]
[illegible]飛[illegible]得[illegible]仏魔境の力今[illegible]
[illegible]

しも先くまうの日像上人御弟子
和泉の阿闍梨と申すと仰せ蒙り合
ひ彼の七ヶ所の樹枝のらひとりて
めべやと一ヶ所ようん猶しまれ
法力自金色の〇題目とあり宝軍
よんしくうぐ地と云ひ出でぬ
出げ給ひ給ひとりて付弟子にふさげ
めれひとりあやうく三度ひろうあり

宝軍寺すまつ三ヶ所の枝とうあり
づくあまうえんと申し乳と云ひ
れ出くめぐるや高祖の御
ふりくと思りしやうくよ
元ぐこつぐ法歌の大達の花
めなくくと高大花ちつよ
為花日像不授ふ名大花
品と後編ふ時は安ふ合

[illegible]

[illegible]

[illegible]